

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



日本からマスクが届きました!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

日本では、終結にむかうのでは、と思われたコロナウイルスですが、ここに来て再び勢力を取り戻しているかのように、感染者が増加しております。

海外では、と言うと、まだ収まる気配すら無い状況のようです。このような中、先日カンボジアにマスクが届けられ、みな大変喜んだそうです。

話が変わりますが、日本ではコロナ問題の他にも、水害が酷く、各地で大きな被害が出ております。被災された方々に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧をお祈り致します。数年前から、よく「気候変動」ということばを耳にするようになりましたが、たしかに、以前の日本では考えられなかったような災害が、このところ多く発生しております。もちろん、日本だけではなく、世界の各地でも気象の異常による災害が多発しております。このような観点からも、さらに多くの孤児院が必要となるのは明らかでしょう。

一人でも多くの子供たちを助けるために、どうか今後とも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で、すでに3ヶ月以上学校が休校になった状況の中で、車の整備を学んでいた男子が、他の車の整備校へ、面接による試験を受け、無事に合格したので、7月から通い始めています。休校について、教育省から、3段階で徐々に再開して行くという方針が明らかにされました。第1段階としては、十分にコロナ対策を行なえるインターナショナルスクール15校が8月に再開される予定とのことです。子ども達の通っている学校が対象になるかはまだわかりませんが、就学再開に向けて準備をしていきたいと思います。後期試験が最近、12年生と9年生を対象に行われました。8月には、全国統一試験も行われる予定とのことです。孤児院でも対象となる12年生2人と9年生が1人いますので、休校が続いた中で統一試験は子ども達にとって難関であることが予測されますが、最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと願っています。現在の厳しい状況の中で、皆様から変わらない孤児たちへの心温まるご支援を心から感謝申し上げます。



休園中の幼稚園から園児達にも宿題があり、学んでいるのはYN

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン子どもたちに対する皆様の尊いご支援を心から感謝致します。フィリピンでは今学期は8月からオンライン授業と決まりましたが、教育省の決定に保護者も子どもたちも戸惑っています。特にPCや接続に必要な機材を購入することが経済的に難しい家庭やインターネット環境の整っていない地域では、何をどうしたら良いのか困惑しています。私達も就学支援生のためにPCを購入する経済をどこから手に入れば良いのか分かりませんでした。安くても良いPCを求めてPCショップに下見に行きましたが、店長から「もう在庫はありません」と言われショックを受けました。そのような時にNPO法人Class for Everyoneの皆様を通して中古のPCを寄付して頂けると聞いてとても喜んでいました。PCを必要とする就学支援生35人のためにPCを買い揃えるためには非常に高額な費用が必要ですので、皆心から感謝しています。PC以外の必要として、学校登録料や授業料、学校行事参加費等 \$4,433.33、学用品代 \$1,783.08、高校諸経費 \$388.89、計 \$6,605.30の必要があります。このためにも皆様のご協力ご支援を心からお願い致します。



エレノアと就学支援生

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます! コロナも落ち着いてきて、学校も一部解禁となりました。レストランもオープンとなり、少しずつ、元の生活に戻ってきています。"普通"であることの有り難みに気づきました。スラムの学校はまだ再開が許されていないため、孤児たちの状況を知るために、家庭訪問を行いました。皆笑顔で出迎えてくれましたが、給食を恋しがる声が全員から聞かれました。スラムの孤児たちは、1日1食さえ困難な程の貧困にある場合が多く、学校での給食が、非常に重要な役割を果たしてきました。HIVに感染している子どもは、抵抗力を強めるための薬を毎朝服用しますが、空腹のため強力に作用し、学校に来てもグッタリしてる様子が見られていました。そのため、何とか学校で朝食も提供できないか、という話し合いがなされた矢先に、学校が閉鎖されてしまい...この期間、食糧支援を各家庭に行ってきましたが、今後も継続し、そして学校再開できたら、朝食も提供できるようになることを願っています。どうか皆様のご支援をよろしくお願い致します。



給食配膳

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ブラジルでは、新型コロナウイルスの感染者数が世界ワースト2位になってしまい、現在約185万人です。半数以上が回復しているのが希望ですが、回復者からは感染しないのか不透明です。24時間で新規感染者数は約4万人、千人以上の死者が出ている事態です。サンパウロ州の非常事態宣言は毎回延長されていますが、地方自治体レベルで従い方はまちまちです。7月1日以降にアラサトゥーバでは生活必需品でない商業施設は1日4時間まで営業可とされ、急速に感染者数が増えました。数か月で100人くらいに抑えられていた感染者数が、この数週間で千人以上になりました。食料品を買いにスーパーに行くだけでも、通りにひと気がまったくなく、危険を身近に感じます。先週火曜日に大統領が感染したとニュースがありました。それまでも保健省大臣が何人も辞職したり、マスクについての取り扱いなど、政治的混乱が起きています。このような中でも、ステイホームで感染せずに、守られています。どうぞ引き続きのご支援をよろしくお願い致します。



元気です